

(3) 必要性評価項目の解説

高速道路網を形成する都市計画道路である

都市計画上 の意義	国の計画に適合しつつ、国土レベルの広域的な自動車交通を処理する高い走行機能を持つ道路の整備は必要である。
必要性評価	〔対象となる道路〕 ・ 高規格幹線道路 ・ 地域高規格道路
代替道路の 検討	なし

【参考】高規格幹線道路、地域高規格道路

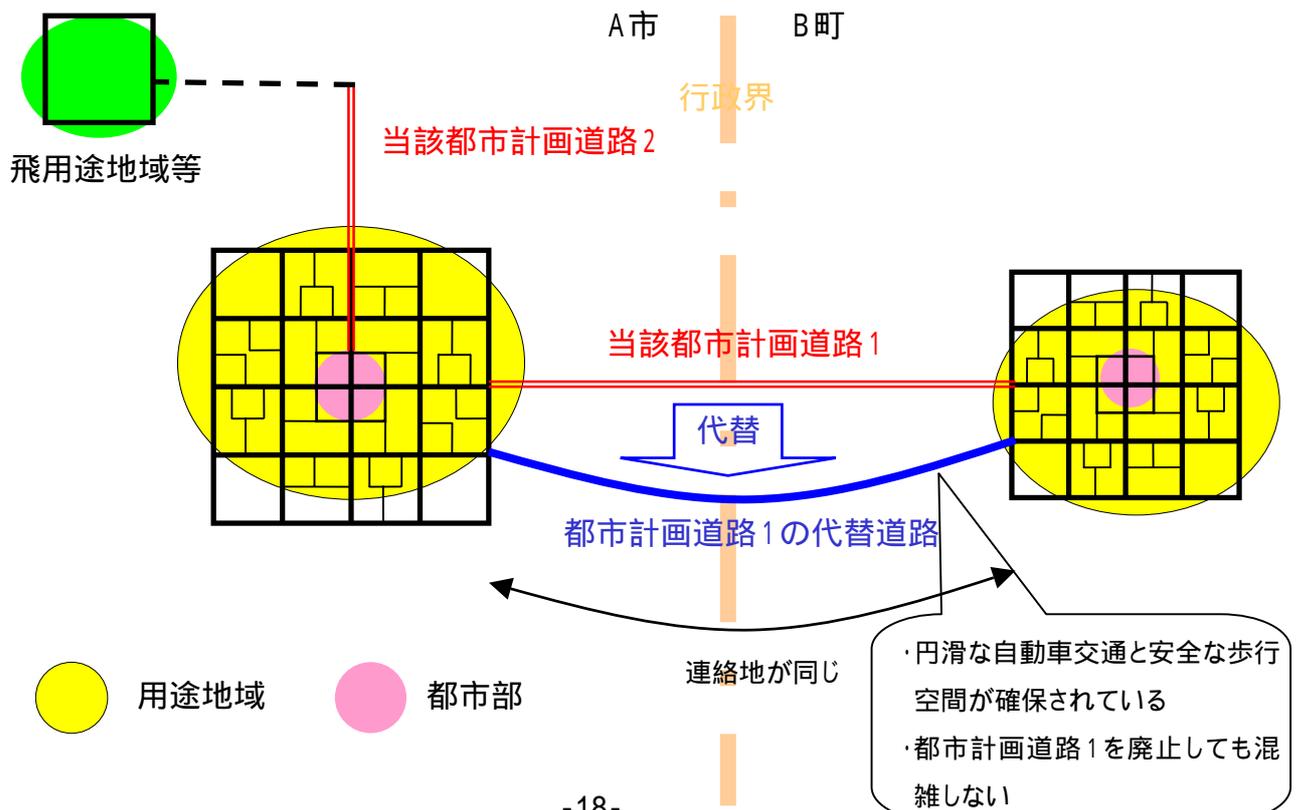
(道路の種類)

高規格幹線 道路	・ 自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路 富山県内では、北陸自動車道、能越自動車道、東海北陸自動車道
地域高規格 道路	・ 高規格幹線道路と連携して高速道路網を形成し、地域間交流の利便性を高め県土の均衡ある発展に寄与する道路で、自動車専用道路またはそれと同等の機能を有する道路 富山県内では、富山高山連絡道路、富山高岡連絡道路、富山外郭環状道路、高岡環状道路

都市間の連絡機能を有する都市計画道路である

都市計画上の意義	都市拠点間を連携し、都市に出入りする交通を集約して処理する道路の整備は、円滑な都市間の移動を確保するために必要である。
必要性評価	〔対象となる道路〕 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村間の連携強化を担う道路 ・用途地域間等の連携強化を担う道路
	〔評価方法〕 次のいずれかに該当すること <ul style="list-style-type: none"> ・マスタープラン・総合計画・幹線道路網計画等に位置付けられている ・都市計画総括図等で都市間を連絡することが確認でき、かつ、相当量の交通が見込まれる
代替道路の検討	次のいずれにも該当すること <ul style="list-style-type: none"> ・代替道路と当該都市計画道路の連絡地が同じである ・代替道路に円滑な自動車交通と安全な歩行空間が確保されている ・当該都市計画道路を廃止することにより、代替道路及び周辺道路が混雑しない

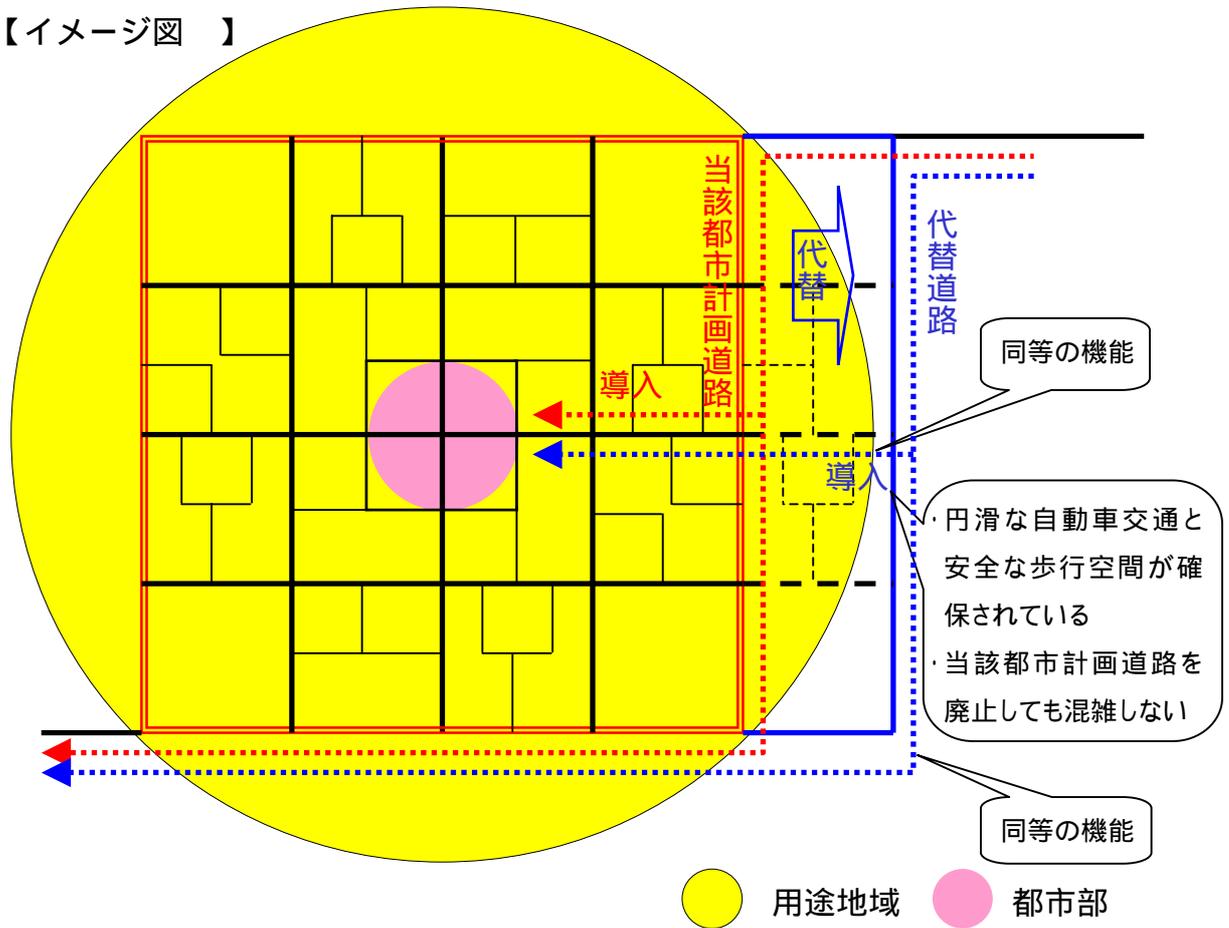
【イメージ図】



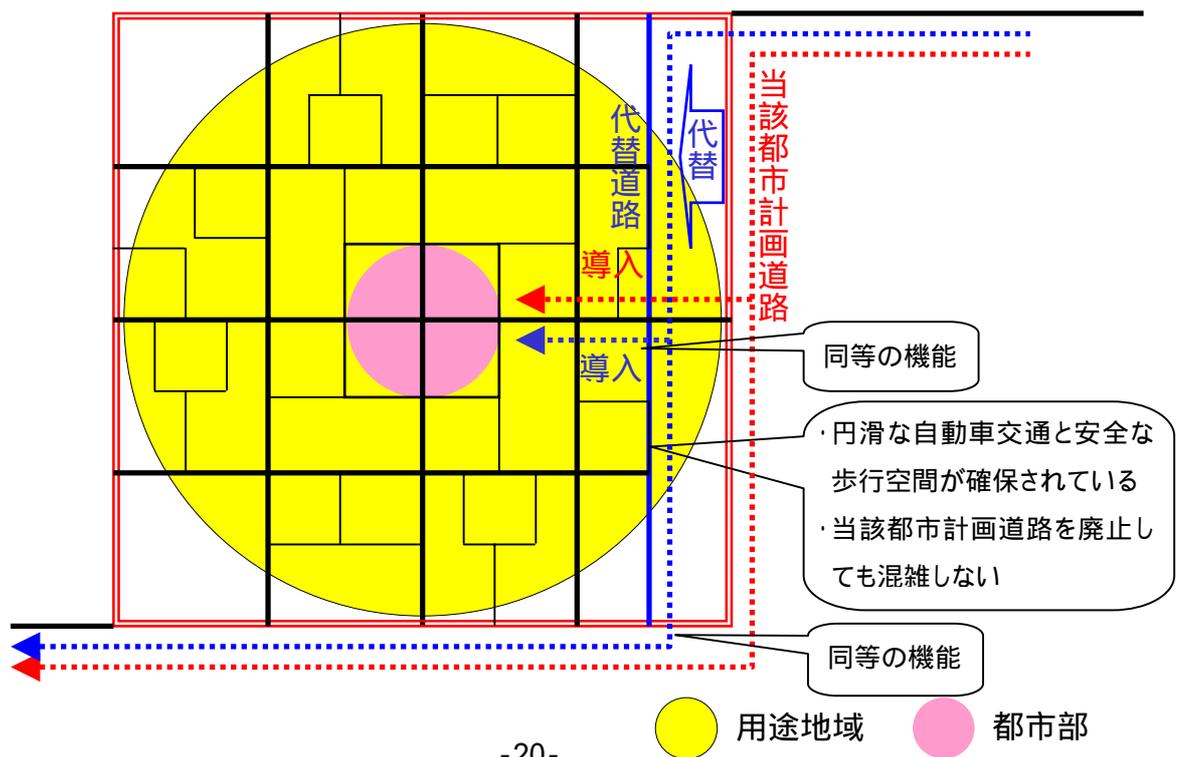
都市部の環状機能を有する都市計画道路である

都市計画上の意義	市街地に集中する交通を分散・導入し、都市を通過する交通を迂回させるための道路の整備は、円滑な移動を確保するだけでなく、都市構造を形成する上からも必要である。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市部へ流入する通過交通を分散する道路 ・ 放射道路と連携し、都市部への交通を円滑に導入する道路 ・ 都市構造の外郭を形成する道路 <p>〔評価方法〕 次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン・総合計画・幹線道路網計画等に位置付けられている ・ 都市計画総括図等で環状道路を形成することが確認でき、かつ、相当量の交通が見込まれる ・ 都市計画総括図等で都市構造の外郭を形成することが確認できる
代替道路の検討	<p>次のいずれにも該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替道路が当該都市計画道路と同等の機能を有する ・ 代替道路に円滑な自動車交通と安全な歩行空間が確保されている ・ 当該都市計画道路を廃止することにより、代替道路や周辺道路及び都市中心部の道路が混雑しない

【イメージ図】



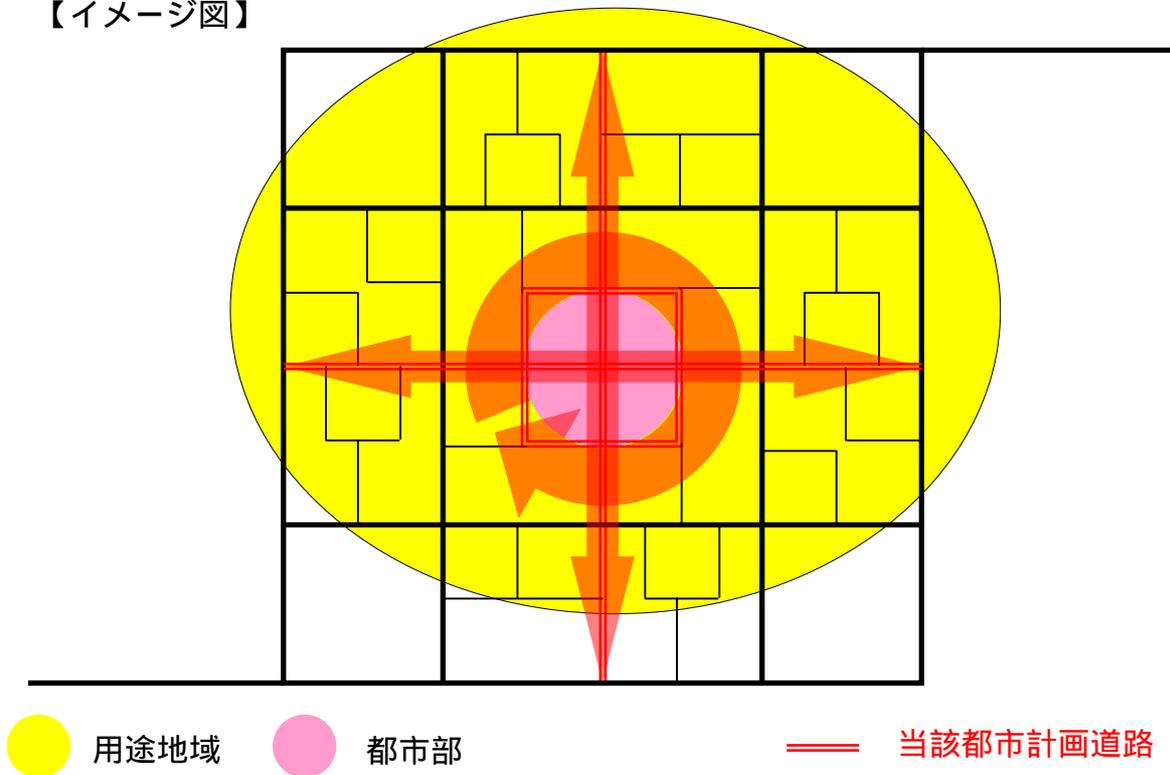
【イメージ図】



都市軸となる都市計画道路である

都市計画上の意義	都心部や文化施設の集積地区等で都市の顔となり、景観形成の軸となる道路の整備は、良好な都市空間や都市構造を形成する上で必要である。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市のシンボルとなる道路 ・都市内道路網の中心的役割を果たす道路 <p>〔評価方法〕次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスタープラン・総合計画・幹線道路網計画等に位置付けられている ・景観計画等において、景観上重要な道路として位置付けられている ・都市計画総括図等で都心部等を通過することが確認でき、かつ、相当量の交通が見込まれる
代替道路の検討	なし

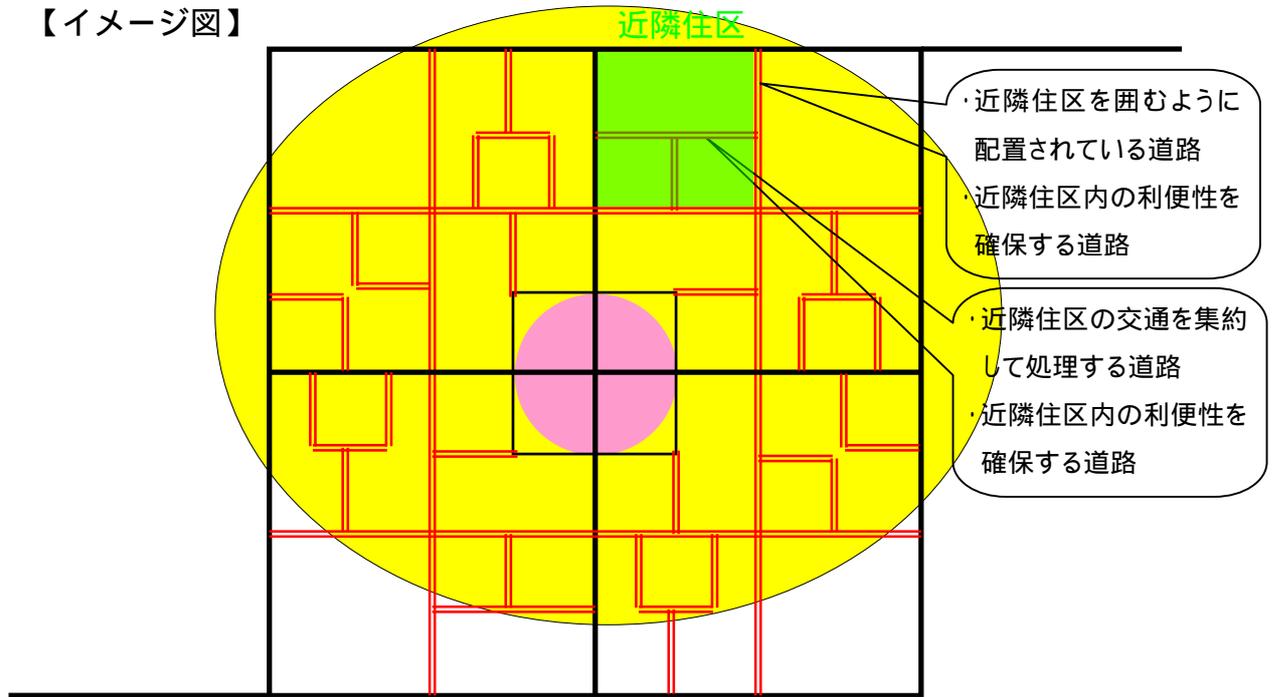
【イメージ図】



道路ネットワーク構築上、必要な都市計画道路である

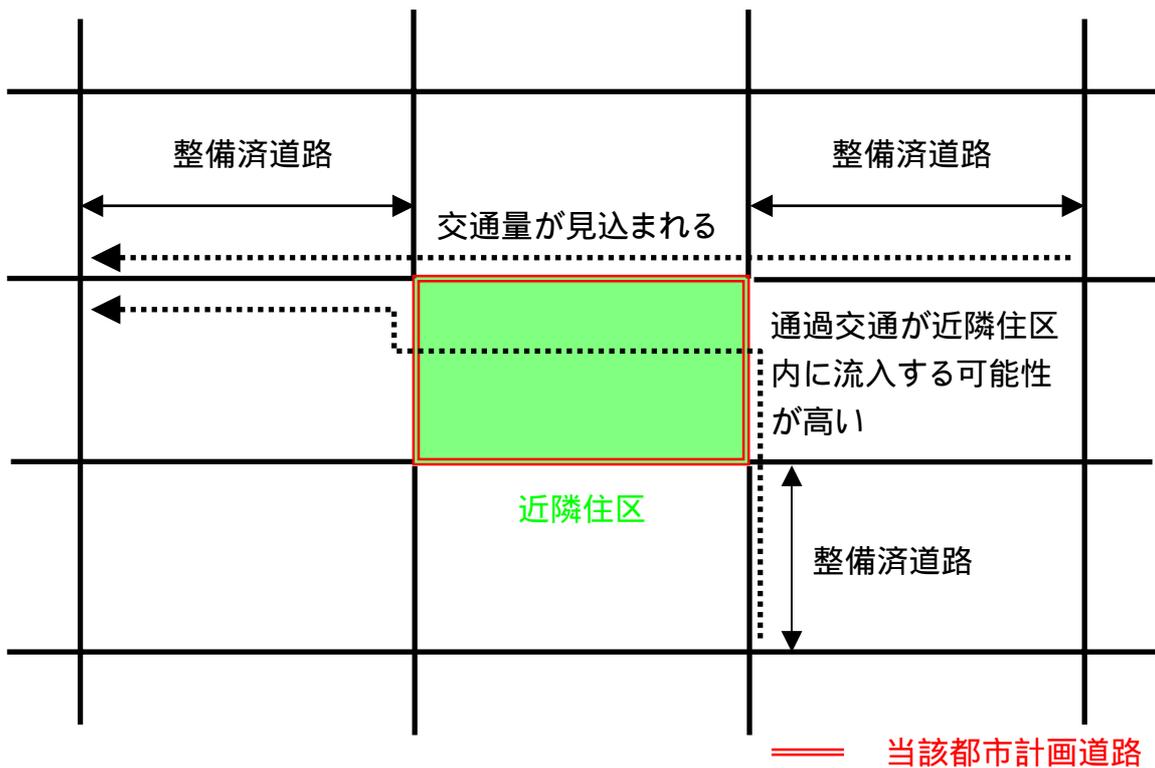
都市計画上の意義	から の道路を補完するとともに、街区を構成する道路は、最も効率的に交通を集散させるため、地域の特性に応じた網形態となるよう計画的に整備を図る必要がある。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣住区を囲むように配置されている道路 ・ 近隣住区内の交通を集約して処理する道路 ・ 近隣住区内の利便性を確保する道路 <p>〔評価方法〕 次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン・総合計画・幹線道路網計画等に位置付けられている ・ 都市計画総括図等で近隣住区を囲むように配置されていることが確認でき、かつ、相当量の交通が見込まれる ・ 近隣住区内において、相当量の交通が見込まれる ・ 当該都市計画道路を廃止した場合、近隣住区内において、円滑な自動車交通と安全な歩行空間を有する道路の利便性を享受できない地区が生じる
代替道路の検討	<p>次のいずれにも該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣住区内に通過交通が流入する可能性が低い ・ 代替道路に円滑な自動車交通と安全な歩行空間が確保されている ・ 近隣住区内において、円滑な自動車交通と安全な歩行空間を有する道路の利便性を享受できない地区が新たに生じない ・ 当該都市計画道路を廃止することにより、代替道路や周辺道路が混雑しない ・ 当該都市計画道路と連絡している主要な道路が代替道路とも連絡している

【イメージ図】

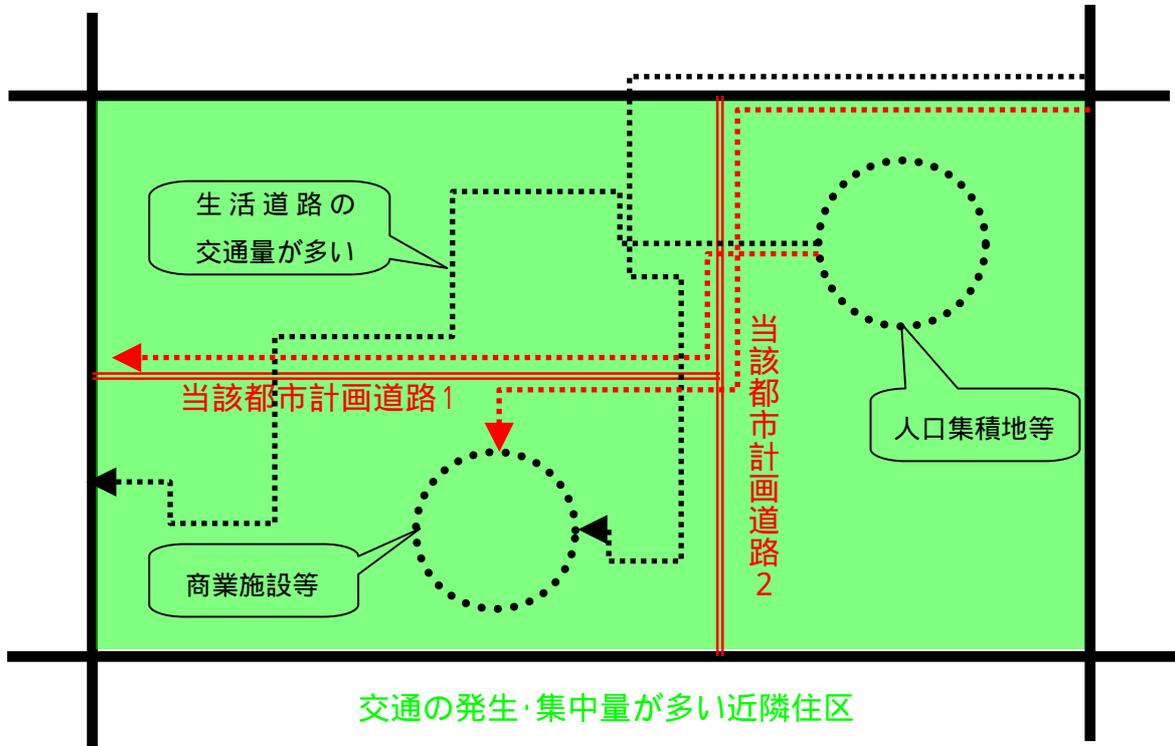


● 用途地域 ● 都市部 ≡ 当該都市計画道路

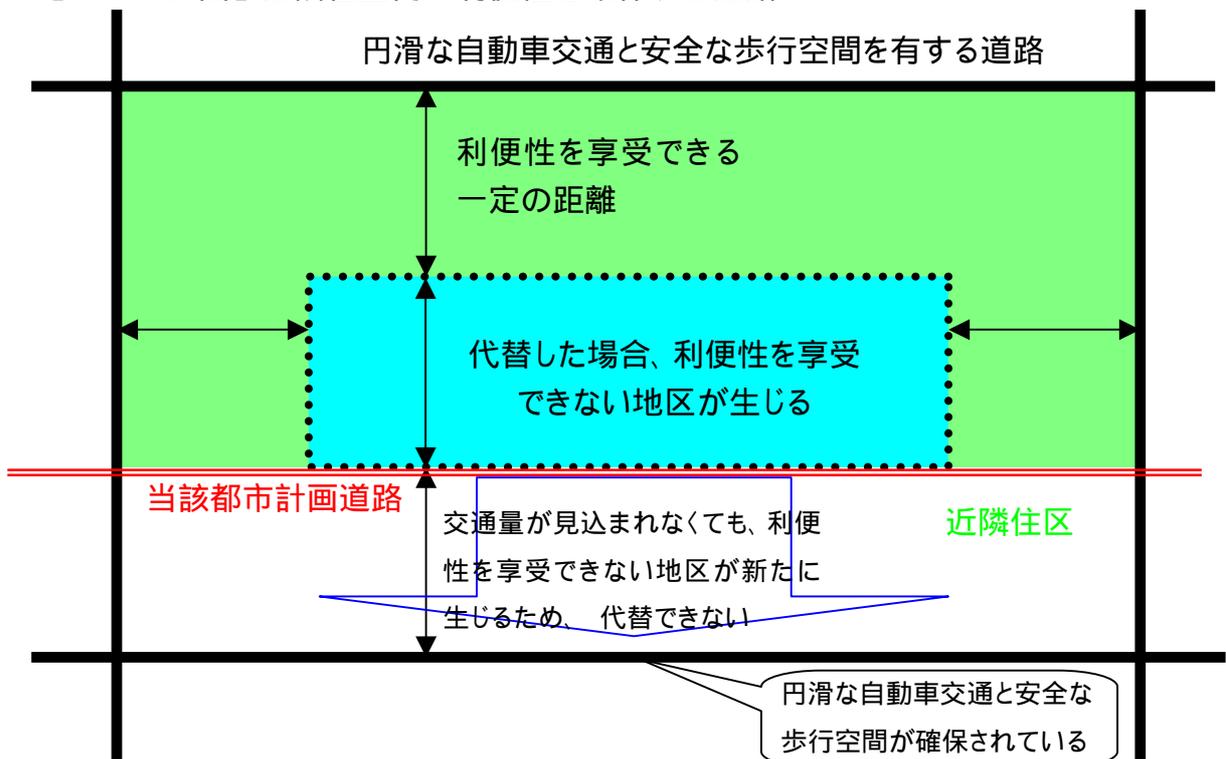
【イメージ図】近隣住区を囲むように配置されている道路



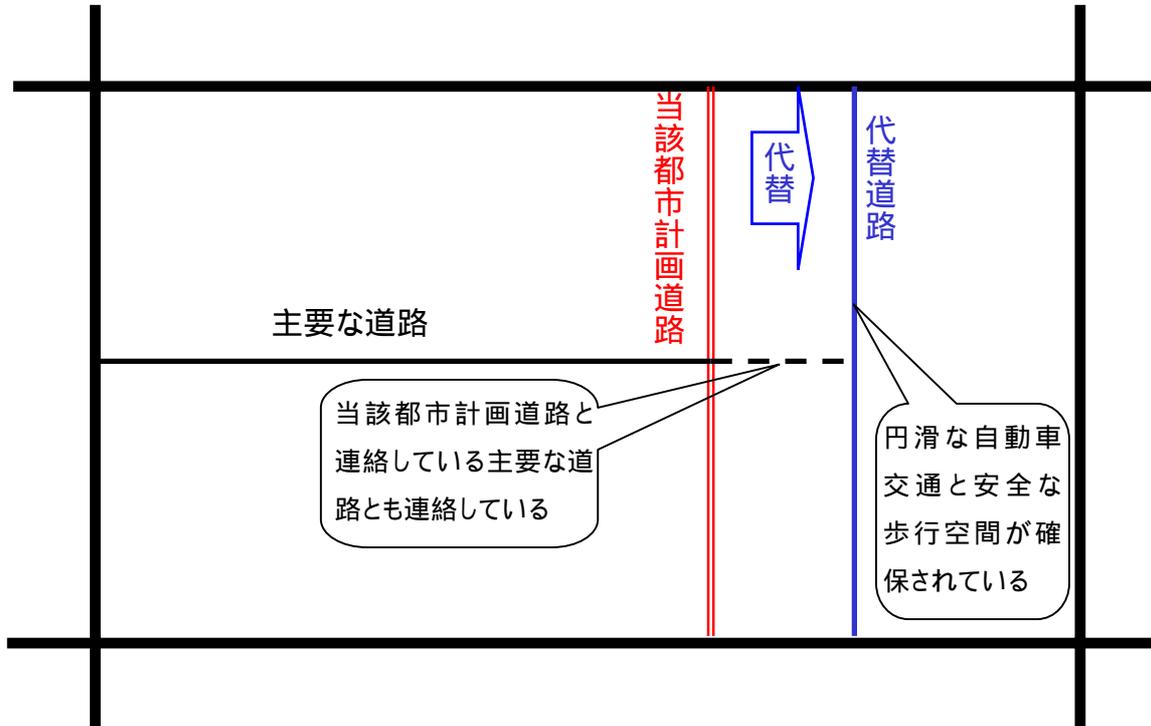
【イメージ図】近隣住区内の交通を集約して処理する道路



【イメージ図】近隣住区内の利便性を確保する道路



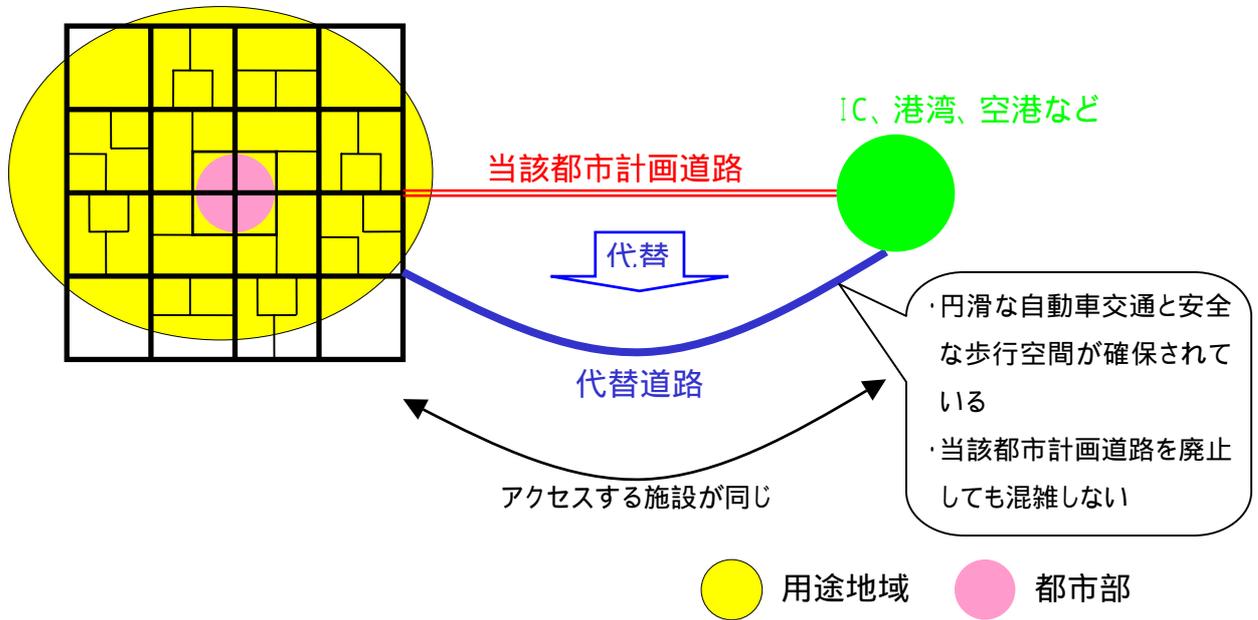
【イメージ図】当該都市計画道路と連絡している主要な道路が代替道路とも連絡している



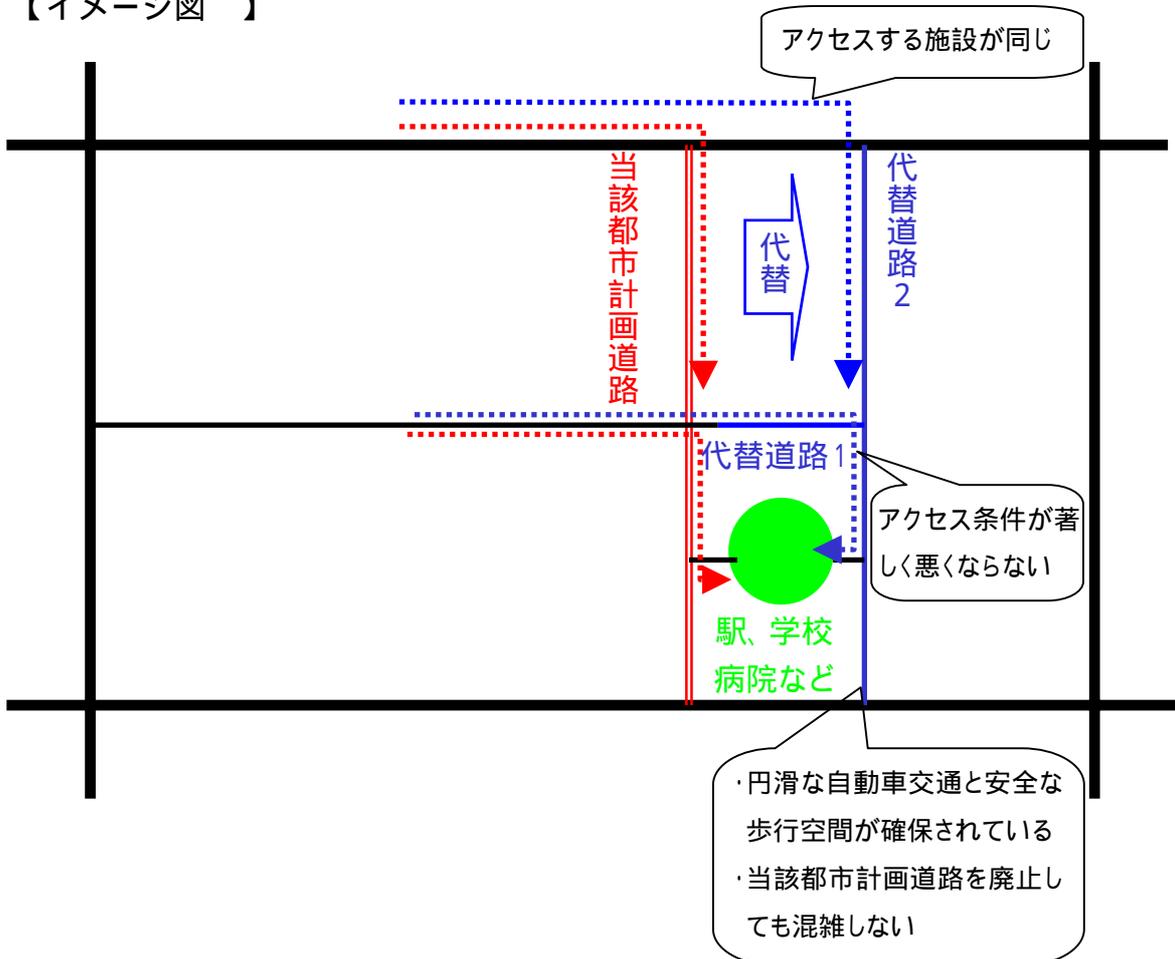
主要施設へのアクセスに必要な都市計画道路である

都市計画上の意義	交通拠点や物流拠点、公共施設等へ集中する交通を受け持つアクセス道路の整備は、円滑な都市活動を支え、都市生活者の利便性の向上を図る観点から必要である。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅、IC、港湾、空港、学校、病院、行政機関等の主要施設へアクセスする道路 <p>〔評価方法〕次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン・総合計画・幹線道路網計画等に位置付けられている ・ 都市計画総括図等で主要施設へのアクセスに必要なことが確認できる
代替道路の検討	<p>次のいずれにも該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセスする施設が代替道路、当該都市計画道路ともに同じである（特に、徒歩での利用者が多い施設の場合、距離等のアクセス条件が著しく悪くならない） ・ 代替道路に円滑な自動車交通と安全な歩行空間が確保されている ・ 当該都市計画道路を廃止することにより、代替道路及び周辺道路が混雑しない

【イメージ図】



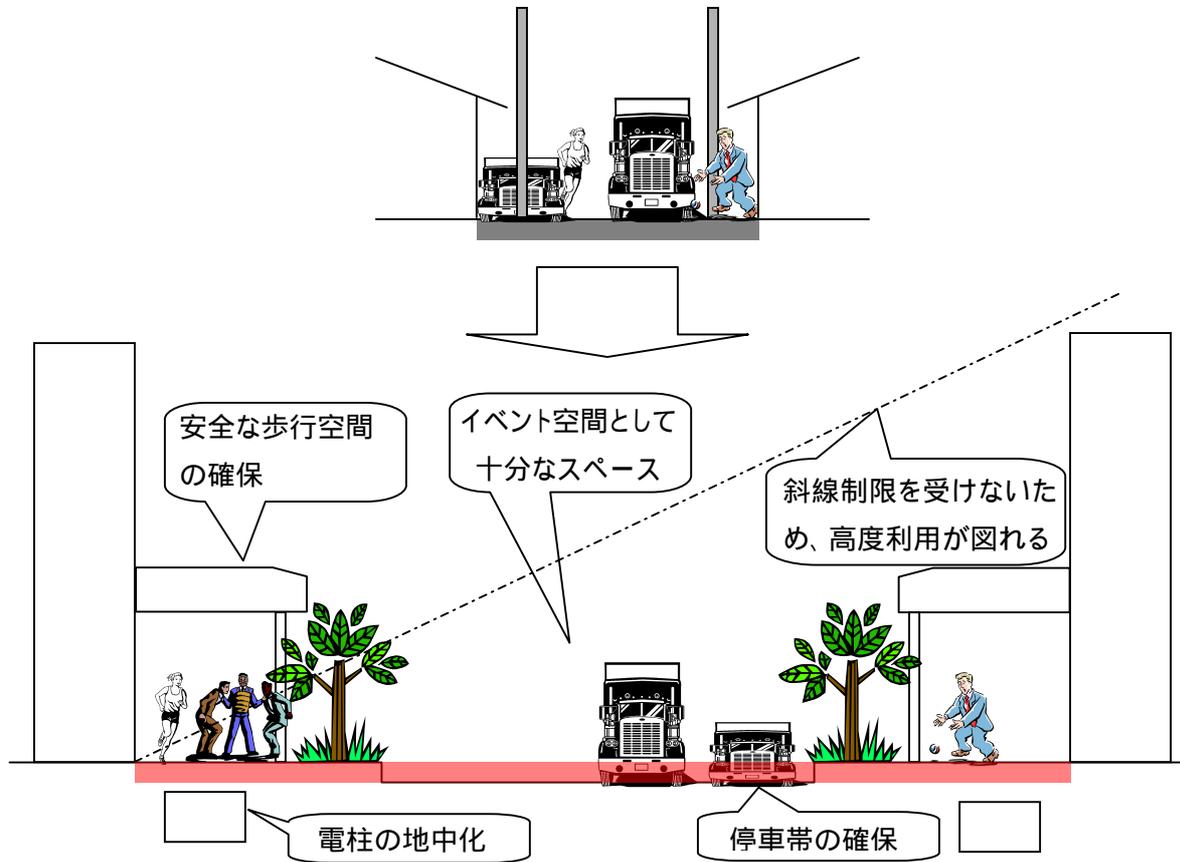
【イメージ図】



地域のまちづくりに資する都市計画道路である

都市計画上の意義	都市計画道路は、都市内における連続した公共空間の提供、良好な都市環境の確保など、交通機能以外にも多くの機能を有しており、都市構造にも大きな影響を与えることから、まちづくりの観点に立った道路の整備は必要である。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道商店街等の活性化に資する道路 ・ イベント空間としても利用される道路 ・ 土地利用の促進に資する道路 ・ 観光拠点のネットワーク、公共施設のネットワーク、緑のネットワーク等を形成する道路 ・ その他、地域の特性に応じたまちづくりに資する道路 <p>〔評価方法〕 次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン・総合計画・各種計画等に位置付けられている ・ 地元商工会等の関係機関のまちづくり方針等に適合している ・ 想定する土地利用の需要が高い
代替道路の検討	<p>次のいずれにも該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替道路に円滑な自動車交通と安全な歩行空間が確保されている ・ 代替道路について、関係機関と協議が整う見込みがある ・ 代替道路が同等の土地利用の促進に資する

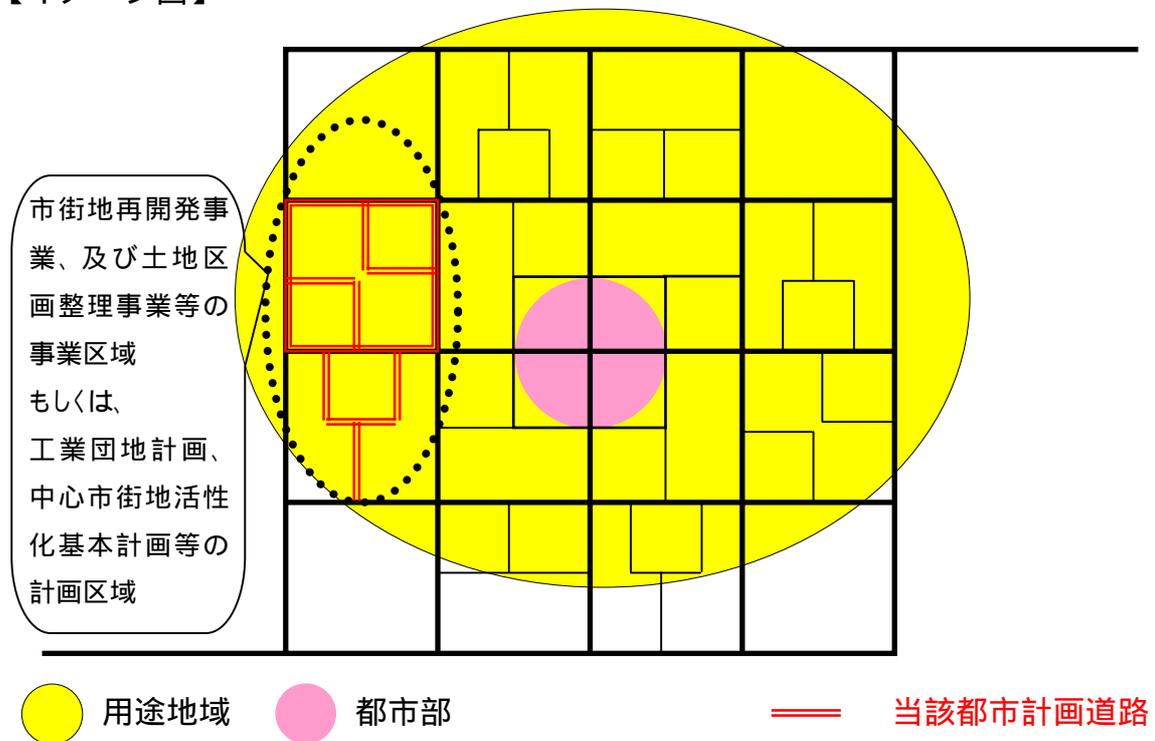
【イメージ図】沿道商店街等の活性化に資する道路



プロジェクトを支援する都市計画道路である

都市計画上 の意義	都市計画道路の整備にあたっては、市街地開発事業等の都市計画事業はもとより、都市計画以外の事業や計画とも連携し、総合的・一体的な都市づくりを進める必要がある。
必要性評価	〔対象となる道路〕 ・市街地再開発事業、及び土地区画整理事業等の事業区域内の道路 ・工業団地計画、及び中心市街地活性化基本計画等を支援する道路
	〔評価方法〕次のいずれかに該当すること ・マスタープラン・総合計画・各種計画等に位置付けられている ・プロジェクトの実現の見込みが高い
代替道路の 検討	次に該当すること ・代替道路について、プロジェクト主体と協議が整う見込みがある

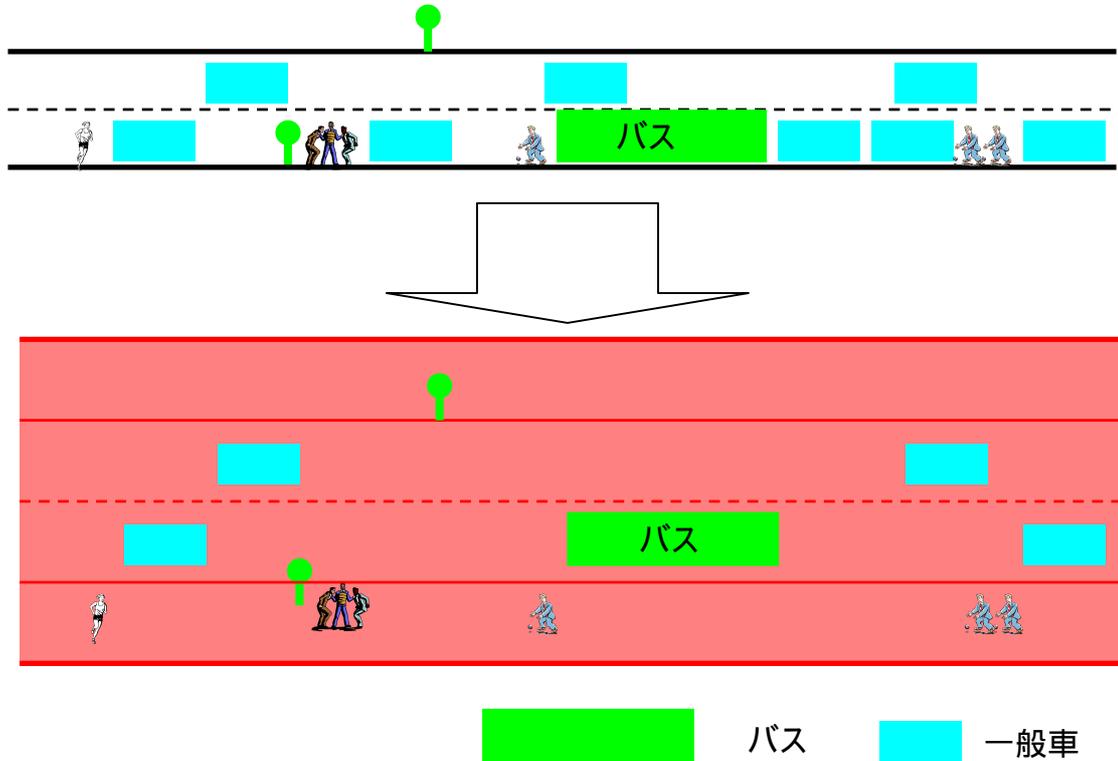
【イメージ図】



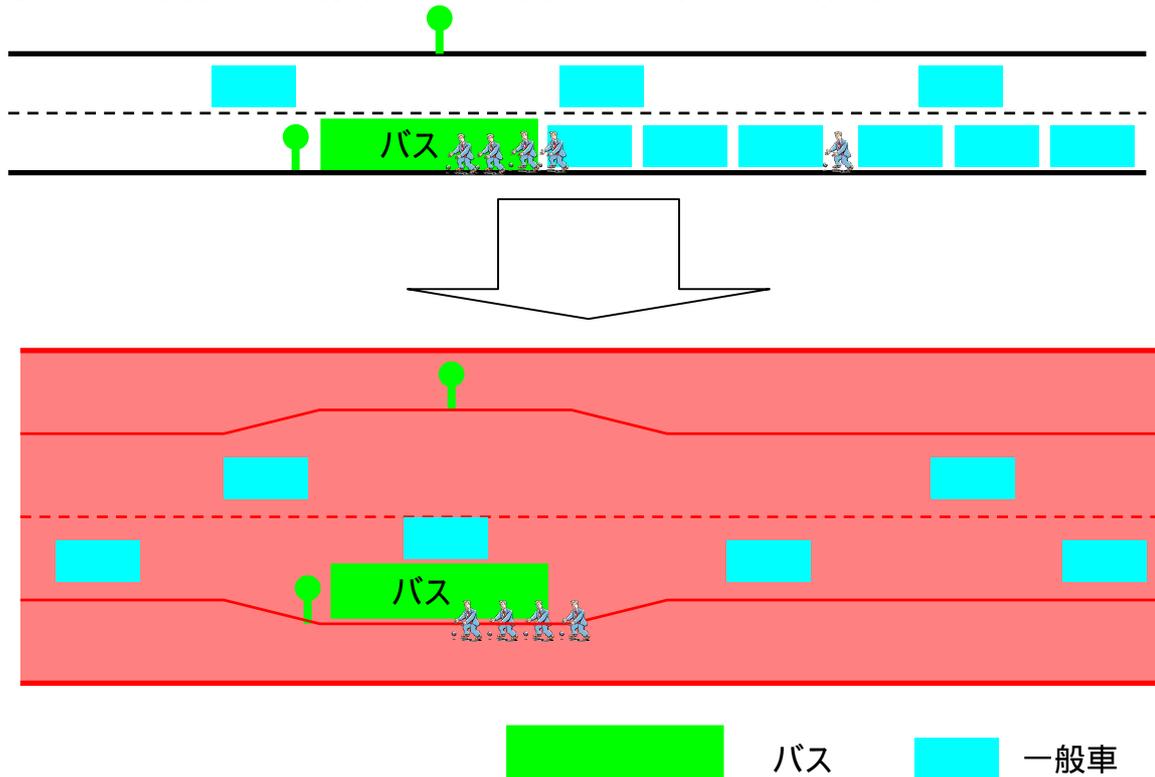
公共交通の利用促進に資する都市計画道路である

都市計画上の意義	円滑な人の移動のほか、高齢化社会への対応や環境負荷の低減の観点からも、公共交通の利用促進を支援する道路の整備は必要である。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス路線 ・ バス路線のバイパス ・ 駅前を通過する道路のバイパス ・ 駅前広場 ・ 駅・バス停等へのアクセス道路 ・ 公共交通の収容空間を有する道路 <p>〔評価方法〕次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン・総合計画・交通計画等に位置付けられている ・ 歩行者がバス停まで安全に行き、安全に待つことができる空間を確保する ・ バスの停車による一般交通への影響を大幅に軽減する ・ バス路線、及び駅前を通過する道路の混雑緩和に大きく寄与する ・ 駅前広場が不十分であること等による一般交通への影響を大幅に軽減する ・ P & R (パークアンドライド)及びK & R (キスアンドライド)の用に供する空間を確保する ・ 駅・バス停等へのアクセス距離が大幅に短縮され、かつ、歩行者・自転車交通が多く見込まれる ・ 路面電車等の交通の用に供する空間を確保する
代替道路の検討	なし

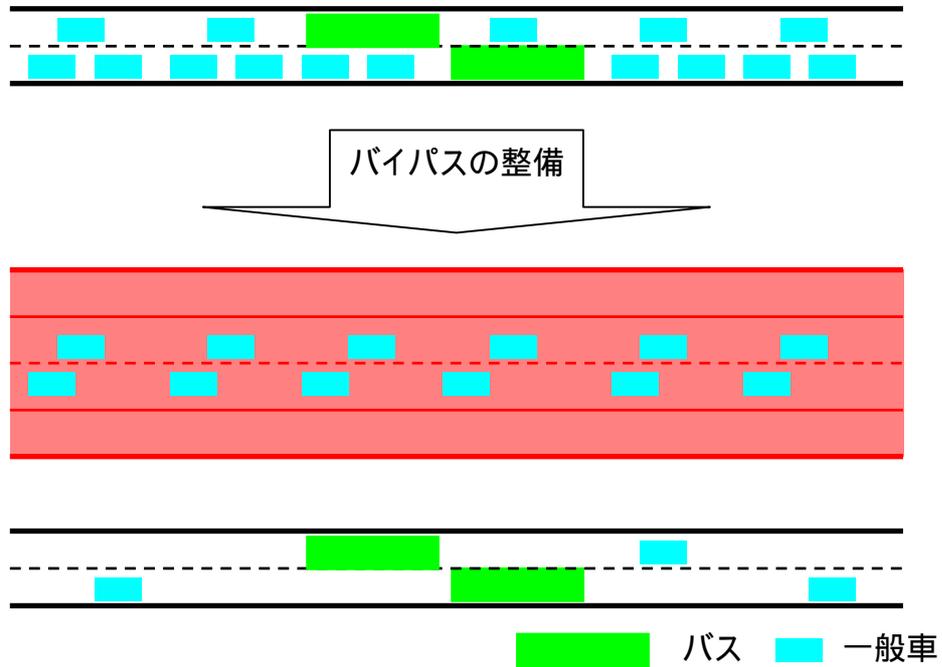
【イメージ図】歩行者がバス停まで安全に行き、安全に待つことができる空間を確保する



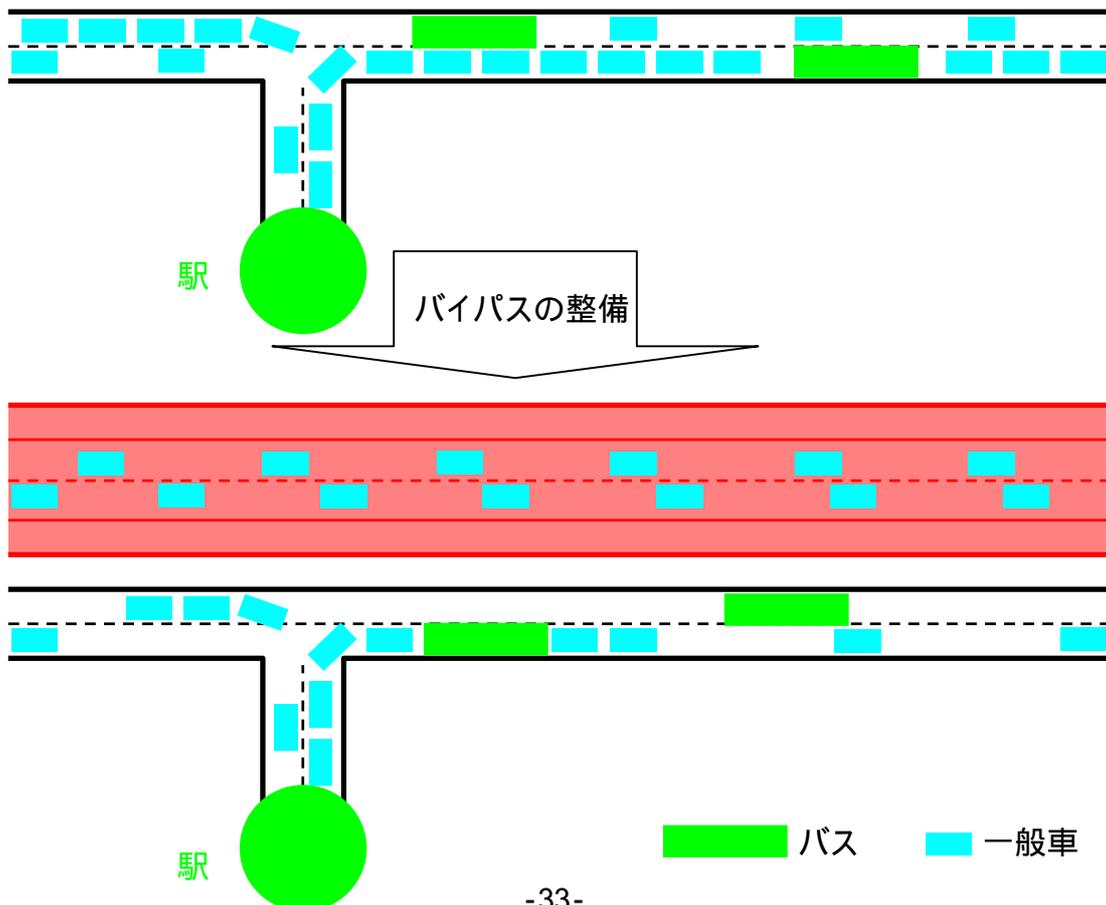
【イメージ図】バスの停車による一般交通への影響を大幅に軽減する



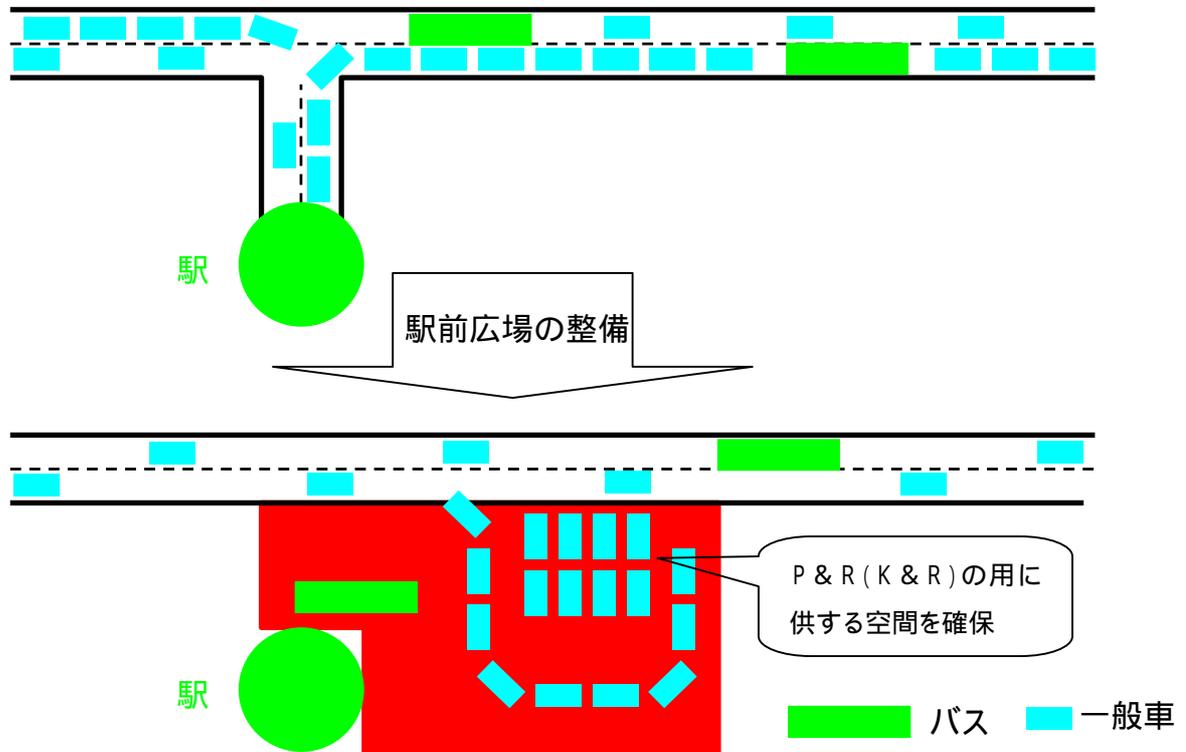
【イメージ図】バス路線の混雑緩和に大きく寄与する



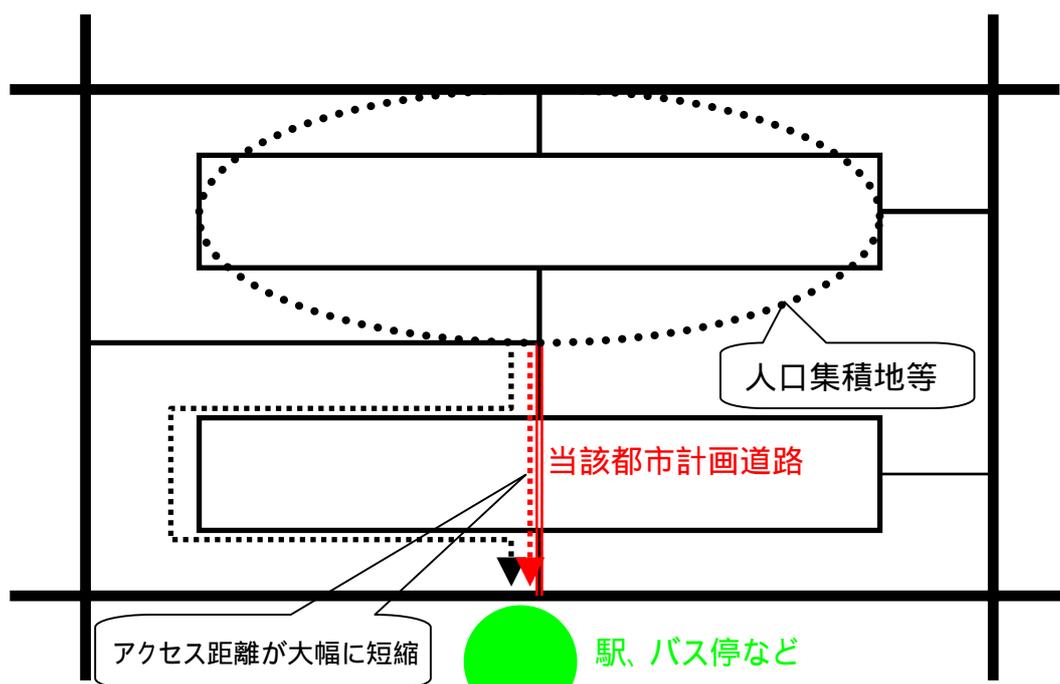
【イメージ図】駅前を通過する道路の混雑緩和に大きく寄与する



【イメージ図】駅前広場が不十分であること等による一般交通への影響を大幅に軽減する



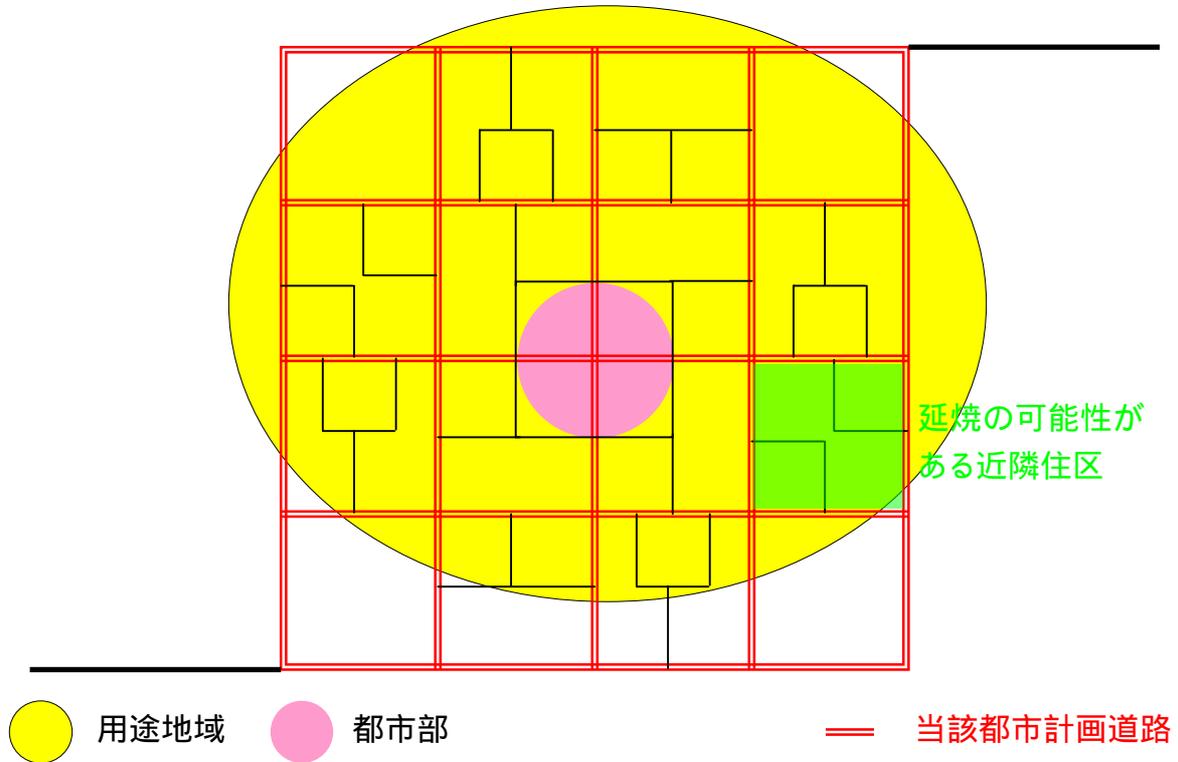
【イメージ図】駅・バス停等へのアクセス距離が大幅に短縮され、かつ、歩行者・自転車交通が多く見込まれる



防災に資する都市計画道路である

都市計画上の意義	災害時の避難路や延焼を遮断する防火のための空間としての機能を有するなど、地震や火災などの災害に強い都市づくりを支援する道路の整備は必要である。
必要性評価	<p>〔対象となる道路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難路や延焼遮断帯となる道路 ・ 消防活動を担う道路 ・ 密集市街地を通過する道路 <p>〔評価方法〕 次のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン・総合計画・防災計画等に位置付けられている ・ 延焼の可能性がある近隣住区を囲むように配置されている ・ 都市計画総括図等で避難地へのアクセスに必要なことが確認できる ・ 当該都市計画道路を廃止した場合、災害時の消防活動等に支障をきたす ・ 老朽木造住宅が密集している地区や狭隘道路の多い地区等、地区の防災上特に問題のある地区を通過している
代替道路の検討	<p>次のいずれにも該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替道路に防災上必要な幅員が確保されている ・ 代替道路を通った場合の避難地までの距離等のアクセス条件が著しく悪くならない ・ 災害時の消防活動等に支障をきたさない

【イメージ図】延焼の可能性がある近隣住区を囲むように配置されている



【イメージ図】避難地へのアクセスに必要である

